

「海・船の視点から見た港湾強靱化検討委員会」(第2回)を開催

南海トラフ巨大地震や千島海溝等での巨大地震の切迫性が高まる中、大規模地震・津波発生時に想定される海側・船側から見たリスクを洗い出し、ソフト・ハード一体となった総合的なリスク軽減策等を検討します。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、WEB 会議にて開催します。

南海トラフ巨大地震や千島海溝等での巨大地震の切迫性が高まる中、国土交通省では、関係者とともに大規模地震・津波発生時に想定される海・船の視点から見たリスクを洗い出し、ソフト・ハード一体となった総合的なリスク軽減策を具体化すべく、『海・船の視点から見た港湾強靱化検討委員会』を設置しました。

本年6月30日に第1回委員会を開催したところですが、今般、第2回委員会を下記の通り、開催いたします。

記

日時：令和2年12月11日(金) 13:30～15:30

場所：合同庁舎3号館8階特別会議室(東京都千代田区霞が関2-1-3)

議事：迅速な沖合退避や係留避泊に対する対策の方向性

「港湾の事業継続計画策定ガイドライン」改訂案

提言骨子(案) 等

委員：別紙参照

○会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶(議事開始前)まで傍聴及び撮影が可能です。

ご希望の場合は、12月11日(金)10:30までに hqt-kouwanumifune@gxb.mlit.go.jp までメールにてご連絡のうえ、当日13:20までに会場へお越しください。会場ではマスクをご着用いただくなど、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

○委員会の議事概要については、当日の17時から合同庁舎3号館8階特別会議室でブリーフィングを行います。また、後日、国土交通省ホームページにて公表いたします。

掲載箇所：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk7_000026.html

【問い合わせ先】

港湾局海岸・防災課災害対策室 野上、服部

TEL：03-5253-8111(内線46765、46764)、03-5253-8689(直通) FAX：03-5253-1654

海・船の視点から見た港湾強靱化検討委員会
委員名簿

有識者	
氏名	所属
青木 伸一	大阪大学大学院工学研究科教授
居駒 知樹	日本大学理工学部海洋建築工学科教授
梅田 直哉	大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻教授
榊原 繁樹	東海大学海洋学部航海工学科教授
笹 健児	神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事研究センター准教授
高山 知司	京都大学名誉教授
田島 芳満	東京大学大学院工学系研究科教授
関係団体	
氏名	所属
鏡 信春	(公社)日本海難防止協会常務理事
小山 卓三	日本内航海運組合総連合会環境安全委員会委員
竹林 哲哉	(一社)日本船主協会海務部副部長
長田 泰英	(一社)日本船長協会常務理事
広津 玲治	(一社)日本旅客船協会安全対策検討委員会委員
関係機関	
氏名	所属
正信 聡太郎	(国研)海上技術安全研究所海洋開発系系長
米山 治男	(国研)港湾空港技術研究所海洋研究領域長
関係省庁	
氏名	所属
峰本 健正	国土交通省海事局安全政策課長
内田 浩平	海上保安庁交通部航行安全課長
安部 賢	国土交通省港湾局海岸・防災課長
奥田 健	国土交通省港湾局技術企画課技術監理室長
渡部 富博	国土交通省国土技術政策総合研究所港湾研究部長

(敬称略。委員名は五十音順。)